講義名	基礎簿記					授業形態	
担当教員	孫　美灵	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 ２時限				
		単位数	2	履修開始年次	１年生	ナンバリング	

主題と概要

簿記は企業の利益を計算するための技術で、利益計算には二つの意味が含まれています。一つは儲けたかどうかを知るための事後的な計算（この計算結果は株主、銀行、一般投資家など会社外部の利害関係者に開示される）、もう一つは儲けるための事前的な計算（この計算結果は経営者が経営戦略を立てるために用いられる）です。この計算技術の基本的な仕組みが理解できなければ、会社経営はもちろん会社の経営実態を理解することができません（たとえば、株式投資のため企業分析を行うとき）。簿記の計算技術によって作成される財務諸表には、会社の経営実態を把握するための豊富な情報が含まれています。

本講義の履修を通じて、企業の財政状態、経営成績に関する簡単な財務諸表を作成することができ、財務的な視点から企業の問題点を理解するために必要な基礎能力が身に付きます。

本講義では財務諸表を読むための第一歩となる複式簿記の基本をマスターすることを目的とします。講義内容は概ね日本商工会議所主催の簿記検定4級から3級までのレベルに相当します。

到達目標

日本商工会議所主催の簿記検定試験4級、3級に相当する内容のうち重要な部分について理解できるようになります。

提出課題

- ほぼ毎回の講義で課題の提出を求めます。
- 小テストを事前予告なく、複数回実施します。授業のはじめに行うので、遅刻しないように注意してください。
- 中間試験を実施します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題や小テストを回収後、解答を配布します。また、必要に応じて解説します。点数は採点後、後日公開します。

評価の基準

平常点（課題ほぼ毎回、小テスト複数回、中間試験1回）60%、定期試験40%の割合で評価を行います。

履修にあたっての注意・助言他

基礎簿記では簿記の基本用語や仕組みの解説をするので、欠席するとその後の内容の理解に支障が出ます。毎回出席することを心掛けてください。

教科書

.使用しない.				

参考図書

.日商簿記3級とおるテキスト【第3版】.	桑原 知之	ネットスクール出版	2200	9784781033112

その他

＜プリント資料＞
講義中、配布します。

授業計画

第1回　会計と簿記の意義
第2回　貸借対照表と損益計算書
第3回　仕訳と転記
第4回　期中取引：商品売買取引①
第5回　期中取引：商品売買取引②
第6回　期中取引：現金・預金取引
第7回　期中取引：手形債権債務・未収入金/未払金
第8回　期中取引：固定資産
第9回　試算表の作成
第10回　中間試験
第11回　決算とは
第12回　決算整理①：売上原価の計算
第13回　決算整理②：減価償却
第14回　精算表の作成①
第15回　精算表の作成②

以上の計画は講義の進み具合によって多少変更する場合があります。

注：コロナの関係で定期試験が実施できない場合は、15回目の講義で試験を実施します。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

○	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

簿記の知識を習得するには、授業中の学習だけでは不十分で、必ず自宅での予習と復習が必要となります。その一方で簿記は正解が１つしかないため、自分の理解が正しいかどうか確認しやすく、こつこつ努力した成果が成績に如実に反映される科目でもあります。事前に配布した資料や指示に従って予習（2時間）し、講義終了後は当日内容の理解を定着させるために復習（2時間）を心掛けてください。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

卒業認定・学位授与の方針（１）－①との関係：簿記の初歩的な知識になるため業界の動向や問題点を理解するまでには至らないが、財務的な視点から問題点を理解するために必要な基礎能力が身に付きます。

卒業認定・学位授与の方針（5）－①との関係：企業の財政状態、経営成績に関する簡単な財務諸表を作成することができます。

卒業認定・学位授与の方針（5）－②との関係：財務的な側面から企業が直面する問題や強みを発見するための基礎能力が身に付きます。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

双方向授業の実施：講義中、教員からの質問に対し自らの考え方を整理し、発言する機会はほぼ毎回あります。

ICTの活用：TeamsやZOOMを利用します。

実務経験の有無及び活用

備考

新型コロナウィルス感染症の状況によりシラバスを修正することがあります。